

EA934YE-3仕様 ユニシール(3mm傷用)

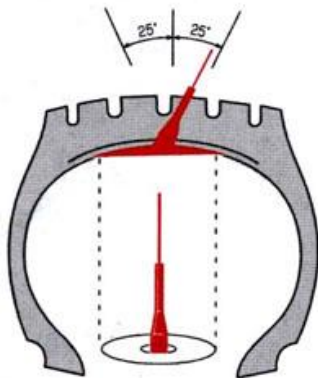
- < 特徴 >
- ① 内外面同時修理が可能な修理材です。
 - ② 傷の角度が 25度迄の範囲で修理が可能です。
 - ③ 乗用車からトラック、バス迄のチューブレスタイヤの 3mm迄のパンク修理が可能です。



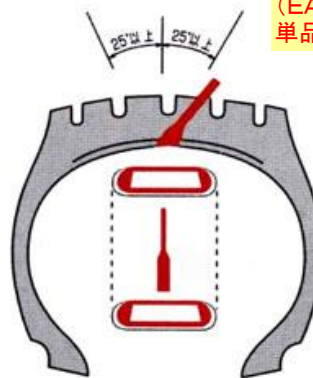
< 対応品番 >

番号	品番
#250UL	EA934YE-3
#251UL	EA934YE-6
#250-1	
#251-1	
#270	EA934YG-3
#271	EA934YG-6
#S-1036	
#S-2032	
#936	EA934YB-4
#738	EA934YK-2

■傷の角度が25°(下図参照) 迄は
内外同時修理方式
(ユニシールウルトラが最適です。)



■斜め傷で25°(下図参照) 以上は
セバレート方式
(ユニシールシステムが最適です。)



(EA934YCのセットに有り。
単品ではエスコ取扱い外)

※3mm迄の傷に対応
(ゴムの収縮等を考慮し
実寸法は約6mm迄となります)
ユニシールウルトラ…#250UL, #251UL
ユニシールシステム…#270, #271

注意事項

1. タイヤ、パフ作業、穴開け作業などでは、安全作業のためゴーグル(安全メガネ)、防塵マスク、保護手袋などを使用して下さい。
 2. セメント作業の際、取扱場所には、局所排気装置などを設けた場所で作業して下さい。その他、セメント缶に表示の注意事項をよく読んで作業して下さい。
 3. 変形、欠けなどしたカッター、工具は使用しないで下さい。怪我のもとになったり、工具などのさらなる破損や修理タイヤの損傷につながります。
 4. テック社以外のセメントを絶対に使用しないで下さい。加硫反応せずに、本来の充分な修理性能・品質が得られない事があります。
 5. 近くでの禁煙を厳守して下さい。またセメントを本来の用途以外に使用しないで下さい。
- 修理後のタイヤをタイヤ規格の空気圧、車両積載荷量、最高スピード等、規定範囲内で使用して下さい。



警告

< 取扱説明 >

					
① (#915) スパイラルツールで、傷の大きさと角度を計った後傷口の中心より、クレヨンで十字マークを入れ、ユニシールウルトラを、傷口の中心に合わせ、クレヨンでパフエリアをマークします。	② マークしたエリア内に、(#704A) パフアー液を吹きつけながら (#933) スクレーパーで、汚れやシリコン等を取り除きます。	③ (#270、#271) カーバイド・カッターで傷口を処理します。最初に内側から3回、次に外側からも3回、繰り返し傷を整えます。	④ (S-1036) 低速エア・バッファーに (S-2032) ラバーフックをセットしパフエリア内を平らになる様になります。 ※エア・バッファーは5000RPMを超えない様にして下さい。 (ゴム焦げを防ぐ為) バッファー液をウェスにしみ込ませて、パフ面をきれいにふき取り、よく乾燥させます。(3～5分間)	⑤ (#915) スパイラルツールを使用し、(#760) ケミカルセメントを内側と外側から右回転で傷穴にたっぷり押し込みます。	
					
⑥ スパイラルツールを傷の中にさしたまま、タイヤ内面のパフ面に、セメントを塗布し、3～5分間乾燥させて下さい。 ※冷たい気候や湿度の高いところでは、乾燥時間を長くする必要があります。	⑦ 青いビニールをはがしスパイラルツールを取り外し、ユニシールウルトラをタイヤの内側より、表面に向けて引き出します。	⑧ ユニシールウルトラをベンチではさみ、タイヤ内面に水平になるまで引っ張り出します。ただし、ステムにくぼみができたり、破損したりしない様に引っ張りすぎないで下さい。	⑨ ユニシールウルトラのパッチ部分を中央部から端に向かって (#936) ステッチャーローラーを強く圧着します。	⑩ 圧着後パッチ周辺のインナーライナーを修復する為、セキュリティコート (#738) をパッチのエッジにかぶせて塗る。 ※約15分で乾燥し、黒色に変色します。	⑪ タイヤをリムに組み、ユニシールウルトラの柄を2～3mm残してトレッドと水平にカットして下さい。